

牧羊ひろば



横浜栄光教会 教会学校

横浜栄光教会では、日曜日の朝9時から30分程度の礼拝と、その後10時まで分級を行っています。小さい子でも礼拝中静かにお話を聴くことができ、聖句の暗唱にも積極的に取り組んでいるのがすばらしいところです。毎月第一週は、小学科と中高科合同の礼拝で、誕生会をしています。ちよつとしたお菓子(クッキー、プリン、アイスなど)があるので、楽しみにしている子どもが多いようです。その他の週の中高科礼拝は、主日礼拝と同じようなプログラムで行っています。分級は、こひつじ組(未就学児)、下級(小学校1〜3年)、上級(小学4〜6年)に分かれています。現在の平均出席人数は、こひつじ組6人、下級3人、上級3人、中高科はメンバーが入れ替わっての1名です。

それでは、一年間の楽しい行事を紹介します。

○イースター(3月または4月)

朝9時からの礼拝に続いて、ゲームをします。卵ボール(卵に似た形の白いボール)を使った「卵探し」、「卵ボウリング」(ペットボトルを倒す)、「卵運びリレー」(スプーン・お玉で)など、毎回楽しい企画をしています。「卵探し」の代わりに、「魚(カード)探し」にしたこともあります。復活されたイエス様が一番はじめに食べたものを印象づけることができました。卵アレルギーに配慮して、景品はお菓子にしています。イースターが4月の場合は、新しい子どもたちが増えて、定着しやすい傾向にあります。

○花の日訪問(6月)

「花の日」の午後、近くの高齢者福祉施設を訪問しています。給水スポンジ入りの容器(ヨーグルトカップ)に子どもたちが生けたお花をプレゼントし、同じカップと切り花を持参して、施設でも高齢の方々に生けていただきます。子どもたちがさんびし、一緒に「ふるさと」を歌い、牧師が短くメッセージを語ります。子どもたちの訪問やお花をととても喜んでくださり、定着してきました。

た。人生の終盤におられる方々の心が神様にむけられるようにと願って取り組んでいます。

○サマーキャンプ（7月下旬）

日曜日の午後から始まり、一泊して月曜日の午前まで行っています。宿泊場所は、教会の屋根裏と牧師館です。

参加する子どもは20人前後、宿泊する子どもは15人前後です。「はじまりの礼拝」でテーマの導入をし、2回の集会と分級、「おわりの礼拝」は子どもたちの生活につながるまとめですが、今年初めて決心の発表の持ち、聞いているこちらが恵まれました。いつも工夫しているのが、テーマにちなんだゲームです。「モーセ」のときは新聞



2016サマーキャンプ

紙で作った部屋いっぱい巨大迷路をクリアするゲーム、「ザアカイ」に法外な税金を取られる買い物ゲーム（ザアカイが嫌われる理由がわかります）、「ノア」のときは、動物になって鳴き声だけで相手を探し、ペアで箱船に入るゲームでした。プログラムの中でも、特に人気があるのは花火です。それぞれが手持ち花火で楽しんだ後、噴き上げ花火を見学します。歓声が上がリ、みんな大興奮です。またキャンプ中に工作をしますが、同じものを教会の「恵老」（75歳以上）の方々へのプレゼントとして作ります。カード、うちわ、小物入れなど心のこもった手作りの品は大変喜ばれています。

○収穫感謝祭（11月）

神様がわたしたちに与えてくださる恵みに感謝して、「食べ物」に関わるイベントをしています。自分で握ったおにぎりでお弁当を作って食べたり、フルーツを収穫するゲームのあとカットして食べたり…。子どもたちは食べるのが大好きで、毎年楽しく取り組んでいます。アドベントカレンダーをプレゼントして、クリスマスにつなげています。

○こどもクリスマスお祝い会（12月第二日曜日）

数年前、子どもの参加人数をもっと増やすために、教師会で問題点を洗い出して話し合いました。問題点として、1時半の開始時間に遅れてくる子どもが多いこと（プレゼントねらい？）、レギュラーメンバーが少なくなっ

て降誕劇の実施が難しくなったこと、最近の子どもたちはプレゼントに対する

要求水準が高く満足感が得られにくいこと、

小学校でのチラシ配布

が難しいこと、などが

ありました。対策を

考えるにあたって、ク

リスマスはみんなで礼

拝することが大切だ

ということをまず確認

しました。全体の時間を

短縮して、礼拝を一番

最後にささげること

にしてからは、参加した



2015クリスマス

子どもたち全員が心静かにメッセージを聴くことができるようになって感謝しています。年ごとに内容を変えながら実施していますが、いくつかの例を紹介しますと、「ケーキを作って食べよう！」を加えたときは、大好評でした。降誕劇を、場面ごとに写真を撮って、プロジェクトで写しながらセリフを言う形にすると、一人でも役役もできますし、とてもスムーズでした。プレゼントは、クリスマスビンゴや、宝探しなどのゲーム性を加味したり、教会グッズでプレミアム感をだす工夫をしました。分級ごとにお遊戯や合奏の発表をしたときは、保護者の方々が見に来られて喜んでおられました。小学校の校門前でのチラシ配布は、学校側からの苦情を受けて、少し離れたところで子どもたちの安全に配慮しながら配布することになりました。また近くの公園2か所でもチラシ配布を始めました。さまざまな取り組みにより、少しずつ参加人数が増えています。

○おもちつき（3月）

とても人気のイベントです。石臼と大・小の杵、蒸し器などの備品も充実し、回を重ねる事に手順もスムーズ

になってきました。

「よいしょ、よいしょ」とみんなで声をかけながら、ひとりずつ順番におもちをついていきます。つきたての柔らかいおもちに、いちごやあんこを詰めたり、海苔やチーズを巻いたり、砂糖醤油やきな粉をつけたりしていただきます。保護者の方も楽しそうに参加しています。

○修了式(3月)

一年の出席日数に応じて表彰式があります。ごほうびのプレゼントをもらうためにがんばった子どもたちの晴れ舞台です。昨年度は皆勤賞1人、精勤賞3人、努力賞4人でした。クリスチャンホームの子女や、ミッシヨン



2016おもちつき

スクールからの勧めで来ている子どもたちが定着しています。

月に一度の教師会では、来月分の教案の学びをして大切なポイントを確認したり、子どもたちの状況を報告して共通理解を深めたりしています。

今後の課題として、高校を卒業した生徒たちが定着するように、クリスチャンホームの子女がしっかりと信仰を継承するように、また、献身者第一号が与えられるように、教会をあげて祈りつつ励みたいと願っています。

(小岩喜代美)



2016進級式